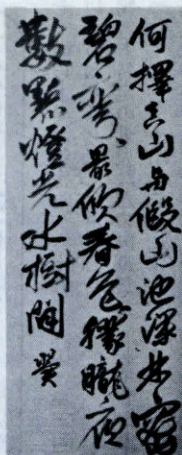


周布さんから麻田へ

海外渡航の柔構造



何舞真山と飯山
池深林密鬱鬱々
碧々々 景欣春色藤蘿夜
数点燈光水樹間

翼

毛利藩には「海外事情視察」の重要さを認識していた吉田松陰を頂点とする一群で、松陰の志を果たそうとするもので、尊攘論を唱える一方、海外渡航を志すなど矛盾しているようだが、尊攘論は徳川幕の施策に対する反論である。政之助等の重臣も海外事情調査に目をむけており、体制的には藩全体が矛盾としない「柔構造」を持っていたのだ。その頃毛利藩で汽船を買入れたので、その周旋に当った横浜の用達伊豆倉の手代、佐藤貞次郎という者が京都に上っていた、ある日政之助は貞次郎を招き「長州の青年を極秘密に英国にやって学問をさせたいと思う、それは何れ攘夷の後が条約改正となる訳であるからその節役に立てたいと考える、御身の義侠を見込んで心配を頼む、秘密を守ってこの事を進めてもらいたい」と密航を頼んだ。そして世話を大村益次郎が当った。五人は藩から貰った金は横浜で使い果してしまつたので

益次郎は貞次郎に依頼して五千兩の金を借り受けて出発させたのである。
文久三年（一八六三）五月十日幕府が朝廷に攘夷の期限として上奏した。そして毛利藩は米船を馬関（下関）に砲撃した。五月十一日藩は政之助を隠居屋として政事堂にて機密の事務に参画させ、別にかを起して、息公平に周布家を継がせた。五月十二日政之助の席次を政務座筆頭とする。此日伊藤春輔（博文）野村弥吉（井上勝）志道聞多（井上堅）遠藤謹助、山尾庸三郎の五人を英国に留学させた



古銅三足小燭台

一方では外国砲撃によって対外的危機感をおおると共に人心収らんを図り、他方では攘夷戦後の開国に備えて渡英したのである。此等の五人が明治維新後にすばらしい活躍を開始するので順を追って述べ、政之助の先見の明を挙揚したい。

斉藤元宣

各種 定時届

受給者の皆さんは、それぞれの「届出」などを指定期日までに持参のうえ役場民生課福祉係にて手続きをすませてください。

○交通遺児等援護手当

修学状況届 提出六月中

○児童手当

児童手当現況届

印鑑

父親（母親）の加入している健康保険証

支払希望金融機関の口座番号

六月二十三日受付

○児童扶養手当

特別児童扶養手当

所得状況届に押印する印鑑

六月中

○福祉医療 重度身体障害者

印鑑

受給者の加入健康保険証

六月中

○老人医療

現在使用中の受給者証

印鑑

本人加入の健康保険証

下記日程で行います。

松の緑を守ろう

空中散布 地上散布の実施

緑豊かな住みよいふるさとをつくるため、みんなで力を合わせ、松を松喰虫から守りましょう。

◎松くい虫予防推進強調月間

五月二十一日～六月二十日

「松が枯れるしくみ」

○松を枯らす犯人は、マツノザイセン虫です。

○マツノザイセン虫の運び屋は、マツノマダラカミキリです。

「松が枯れるのを防ぐには」

松に薬剤を散布しておき、食害

に來るマツノマダラカミキリをや

つづけます。

※注意事項 動物やミツバチ、池、井戸、車、野菜、ヒノキ、イブキなどに薬剤が飛散しないように気をつけ、散布する時はマスク、防護メガネ、手袋などを着用して作業後は顔や手足及び器具等をよく洗って下さい。

◎空中散布 本町では第一回目、六月三日・四日、第二回目 六月十七・十八日に実施します。

散布時間は早期 五時から十時の間、散布区域は、宗頭・縦の木地区より西側です。

◎地上散布 空中散布ができない庭木や並木は地上から手動噴霧機か動力噴霧機などを利用して散布します。これは、地区活動として実施をお願いしています。従って農業は町より無料支給しますが労賃は、所有者負担。

期 日	時 間	場 所	受 付 部 落
6/25 (水)	9:00~10:00	滝坂公会堂	滝坂、一ノ瀬
	10:15~11:45	宗頭文化センター	宗頭、杉山、縦ノ木、中畑、兔渡谷
	13:30~14:30	上中小野公会堂	上中小野、下中小野、辻並、麓
	15:00~16:30	野波瀬漁協	野波瀬
6/26 (木)	9:00~10:00	小島公会堂	小島、下東方
	10:15~11:45	豊原公会堂	豊原、二条窪、平野、向山、上東方、飯井
	13:30~14:30	浅田小学校	浅田
	14:45~15:45	沢江公会堂	沢江、上ゲ
6/27 (金)	9:00~11:30	役場福祉係	久原、広田、大竹、正薬寺、生島、市、津雲、湯免、中村、土手
6/28 (土)	9:00~11:30	役場福祉係	上記日時手続きできなかった者